

# 第3次滑川市子ども読書活動推進計画

令和5年3月

滑川市教育委員会

# 目次

---

はじめに.....	1
第1章 第3次推進計画について.....	2
1 策定の背景と趣旨.....	2
2 計画に係る位置づけ・期間.....	2
第2章 子どもの読書活動における現況と課題.....	3
1 子どもの読書活動を取巻く現状.....	3
2 第2次計画期間における主な成果と課題.....	4
第3章 第3次計画の基本的な考え方.....	13
第4章 第3次計画の具体的な取組.....	16
1 家庭における子どもの読書活動の推進.....	16
2 幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進.....	17
3 学校における子どもの読書活動の推進.....	18
4 地域（市立図書館・子ども図書館）における子どもの読書活動の推進.....	19
5 子どもの読書活動推進に関する理解と周知.....	21
6 滑川市ふるさと教育の環境整備.....	22
第5章 計画の推進に向けて.....	23
1 推進体制.....	23
2 関係機関、子ども読書活動団体などとの連携、協力.....	23
第6章 指標の設定.....	24
資料編.....	27
1 児童生徒の読書に関するアンケート結果（概要）.....	28
2 学校での取組.....	33
3 放課後児童育成クラブでの取組など（アンケート調査結果）.....	34
参考 子ども読書活動推進計画策定の動向.....	36

## はじめに

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

しかし近年、スマートフォンの普及やSNS等のコミュニケーションツールの多様化等、子どもを取巻く環境が著しく変化しており、子どもの読書環境にも大きな影響を与え、「読書離れ」を進めている一因とされています。

滑川市では、「子どもの読書活動推進に関する法律」に基づき、平成30年には「第2次滑川市子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校との連携により社会全体で読書活動の推進に努めてきました。

現在、市内の小学生のほとんどが図書カードを持ち、利用しています。そして、子ども図書館では、ブックスタート事業、季節に応じた図書やおすすめの図書の展示、学校や認定こども園、学童クラブ等への出張読み聞かせや本の団体貸出を行い、子どもたちが人生をより深く生きるための「かけがえのない一冊」に出会えるような環境づくりを進めています。

このたび、国・県の動向や時代の変化を踏まえ、令和5年度から5年間を計画期間とする「第3次滑川市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この計画に基づき、市全体で子どもの読書への関心を高める取組を引き継ぎ、次世代を担う子どもたちが豊かな心を育み、健やかに育つための読書環境の整備、充実に努めてまいります。

## 第1章 第3次推進計画について

### 1 策定の背景と趣旨

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、「市町村は、当該市町村における子どもの読書活動の推進状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならない」とされています。
- 情報化の進展等により読書離れが懸念される中、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできない子どもの読書活動のための環境を社会全体で積極的に整えていく必要があります。
- 市では、家庭、学校、地域等がそれぞれの役割を果たしながら連携し、子どもの読書活動のための取組を計画的に推進するよう本計画を策定します。

#### ◆法律、関連計画等

- ・ 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月)
- ・ 国 第4次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(平成30年4月)
- ・ 県「富山県子ども読書活動推進計画(第4次)」(平成31年3月)

#### ◆市のこれまでの計画

- ・ 「滑川市子ども読書活動推進計画」(平成25年3月)
- ・ 「滑川市子ども読書活動推進計画(第2次)」(平成30年3月)

### 2 計画に係る位置づけ・期間

#### (1) 位置づけ

位置づけとして、市の最上位計画である「第5次滑川市総合計画」、教育に関する部門計画の「滑川市教育大綱」の下、関連する個別計画との整合性を図り、基本的な方向と具体的な方策を明らかにするものとします。

#### (2) 計画期間

計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

## 第2章 子どもの読書活動における現況と課題

### 1 子どもの読書活動を取巻く現状

#### (1) 子どもの読書離れ

子どもの読書離れは、改善しつつあるものの、子どもの年齢が進むにつれて読書離れが顕著になる傾向が続いています。

#### (2) 情報通信技術の発達

スマートフォンやタブレット等の情報メディアの普及により、様々な情報が簡単に入手できるようになりました。デジタル情報の利便性の向上は、情報をすばやく収集する上で役立つ一方、必要な情報や信頼できる情報を選択し、活用できる力が必要です。

また、電子書籍においても普及が進み、子どもが電子書籍を読む割合も増加しています。SNS上の文章を読む機会も増え、紙媒体の本にとらわれない読書の方法が広がりを見せています。紙媒体、電子書籍双方の利点や欠点を考慮しながら、今後も、電子書籍をはじめとした電子媒体の読書環境の整備について検討していく必要があります。

#### (3) 新型コロナウイルス等感染症の影響

新型コロナウイルス等感染症の防止策として3密（密集、密接、密閉）を避ける必要があり、多くの人を集めた啓発活動が難しくなる中、持続可能な読書活動推進の工夫、新たな取組が求められています。

#### (4) 障がいのある子どもを取巻く法の整備

令和元年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が施行されました。法整備の趣旨を踏まえ、障がいのある子どもの読書環境の整備に積極的に取組む必要があります。

#### (5) 持続可能な開発目標（SDGs）

SDGs（Sustainable Development Goals）は、経済・社会・環境のバランスが取れた社会を目指すための国際目標です。国は「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」で地方自治体の各種計画等にSDGsの要素を反映させることを推奨しています。SDGsの17のゴールのうち、特に「4 質の高い教育をみんなに」は本計画と関わりが深い分野として、また、「11 住み続けられるまちづくりを」、「17 パートナリシップで目標を達成しよう」は、本計画と関連する分野として達成に向けて取組みます。



## 2 第2次計画期間における主な成果と課題

### (1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

家庭における子ども読書活動の推進は、子どもにとって一番身近な読書環境であり、子どもに読書の楽しさや大切さを伝える上で重要な役割を担っています。子どもにとって生活の基盤である家庭で、読書活動を推進するための取組を実施しました。

また、地域における子ども読書活動の推進は、子どもが活動する身近な場において、気軽に読書を楽しむことができる機会を提供することが大切です。子どもが活動する場である「地域」において、読書活動を推進する取組を実施しました。

乳幼児期の子ども・保護者が絵本に親しむ環境づくり	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども図書館の開館当初より「ブックスタート事業」を継続して実施。4か月児健診時に母子保健推進員とともに読み聞かせとあわせて案内。絵本の受取は子ども図書館とすることで、ファーストブック（乳幼児向けの本）や子ども図書館について知ってもらい、乳幼児からの図書館利用のきっかけづくりとなった。</li> <li>・「にこにこたいむ（親子ふれあいあそび）」では、「てあそび」や「うたあそび」などに加えて、絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの楽しさを伝えることができた。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブックスタート事業」では、絵本の受取率は約8割を維持できているが、絵本の選択肢を増やすなどの対策を行い、受取率の向上を図る必要がある。</li> </ul>

放課後児童育成クラブ等での図書の充実	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童育成クラブにおいて、夏休みを中心に団体貸出の利用が広がり、児童のそばにいつも本がある環境づくりをすすめることができた。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金・基金などを活用し図書の充実に努めているが、図書館でのリサイクル本を提供するなど、新たな方法により図書の充実を図る必要がある。</li> </ul>

保護者向けの講習会等の開催	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や子どもの読書にかかわる大人のために、読み聞かせ等の講習会を開催し、読み聞かせの意義と本の選び方についての理解を深めた。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が固定化している傾向があり、より多くの方に参加してもらえるよう、多様な機会での案内や、他の事業にあわせて実施するなどの工夫をしていく必要がある。</li> </ul>

## (2)幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進

乳幼児期に本と出会い、楽しむことを通じて多くの言葉にふれることは、子どもの成長にとって、大変有意義です。

子どもたちが本の楽しさを知り、親しむことができるよう、取組を推進しました。

子どもの発達に応じた絵本の充実	
成 果	・各園による図書の充実だけでなく、子ども図書館の団体貸出等の利用により、子どもたちの発達状況に応じた本が身近に揃う環境をつくった。
課 題	・助成金・基金などを活用し図書の充実に努めているが、図書館でのリサイクル本を提供するなど、新たな方法により図書の充実を図る必要がある。 ・コロナ禍により各園の団体利用が少なくなっていたが、徐々に回復しつつある。各園の団体利用時にあわせて、団体貸出を行うなど、子どもたちの生活の中に本が身近にあるよう工夫を図っていく必要がある。

読み聞かせ・読書の方法についての研修	
成 果	・子どもの読書にかかわる大人のために、読み聞かせ等の講習会を開催し、読み聞かせの大切さと本の選び方についての理解を深めた。
課 題	・効果的で効率的な講習会となるよう、他の研修にあわせて実施するなどの工夫が必要である。

出前講座（出張おはなし会）による読書活動の支援	
成 果	・出前講座（出張おはなし会）や、各園の団体利用にあわせ絵本の読み聞かせを実施するなど、子どもたちが絵本に親しむ機会が増えるよう取組んだ。
課 題	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、出張おはなし会や団体利用の数が減少傾向にある。

### (3) 学校における子どもの読書活動の推進

学校においては、子どもの読書活動を支援し、読書指導を充実することにより、読書の量を増やすことのみならず、読書の質を高めていくことが求められています。

このことから、朝読書をはじめとする本に親しむ機会の提供や読書環境の整備、授業での学校図書館の活用など、学びの場である「学校」において読書活動を推進する取組を実施しました。

子どもの自主的な読書活動の推進	
成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童自らがおすすめ本などを紹介する取組を全校で実施した。</li><li>・図書委員を中心に、各校様々なイベントを企画し、読書活動を推奨した。</li></ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>・平日に読書をしない児童・生徒の割合が、県平均、全国平均に比べ高い傾向にあり、学校以外で読書をしない子どもが多いと懸念される。図書館と学校がさらに連携を進めながら読書活動を推進していく必要がある。</li></ul>

学校図書館機能の強化	
成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 29 年 12 月より「団体貸出制度」を利用し、子ども図書館の本を朝読書用として市内小学校へ貸出を実施。近年では、SDGs に関する本を含めて貸出を行うなど、子どもたちが、新しい情報を得ることができるよう工夫した。</li><li>・「学校支援図書購入」として、司書教諭・学校司書から要望のあった本を購入。子ども図書館より各小学校へ貸出すことで、効率的に図書を提供した。</li></ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども達が常に新しい情報を得ることができるよう、引き続き図書を充実させていく必要がある。</li></ul>

学校司書を中心としたサポート体制の充実	
成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>・各校に学校司書が配置されており、児童・生徒の読書活動のサポートを受ける環境を継続できた。</li><li>・図書館職員と司書教諭、学校司書との話し合いの場を設けることで、問題点を共有し、連携の仕方などを工夫できた。</li></ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>・多くの学校において学校司書の配置が 2 校 1 名体制となっている。限られた人員の中で児童・生徒の読書活動のサポートができるよう、工夫が必要である。</li></ul>

家庭・地域との連携による読書活動の推進	
成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>・多くの学校で地域ボランティアと連携・協力し、読み聞かせ等を実施。生徒・児童が本に親しむきっかけとなった。</li><li>・各校独自に家庭での読書を促す取組を実施した。</li></ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭の連携・協力を得られるよう、読書活動の重要性を学校だけでなく、市立図書館や子ども図書館においても引き続き啓発していく必要がある。</li></ul>



#### (4) 市立図書館・子ども図書館における子どもの読書活動の推進

図書館は、すべての子どもに読書の喜びと大切さを伝える場として、また、地域の読書活動の拠点として、充実・発展させていくことが求められています。

また、子ども図書館は「乳幼児期からの本との出会いを大切にし、豊かな感受性や探究心を育み、親と子が気軽に集い、触れ合う子育て支援・交流施設」としての役割を担っています。

滑川市立図書館基本構想に掲げる「家庭、地域、学校の連携を支え、読書推進を発信する図書館」として、関係機関との協働に取り組んできました。

利用しやすい環境づくり	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども図書館では、子育て支援事業として、にこにこたいむ(ふれあいあそび)、子育て支援講座、おはなし会、ワークショップ等を開催。子どもと親が集い交流する場を創出し、図書館で過ごす時間を子育ての中に取り入れてもらえるよう取り組んだ。</li> <li>・市立図書館では、美術展や公園側のテラス席で読書が楽しめるほか、定期的にミニコンサートなどを実施し、明るく憩いやすい空間づくりに努めた。</li> <li>・両館での取組として、中学校や高校などの美術作品を展示するなど、子ども達が来て楽しい雰囲気を出せるようにした。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策として参加人数の制限をしている為、参加者数が減少している。コロナ禍でのイベント等の開催について工夫をしていく必要がある。</li> </ul>

魅力ある書架づくり	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども図書館では、「あかちゃんえほん」、「3歳からのえほん」などのコーナーの設置をはじめ、両館において「中高生向けコーナー(以下YAコーナー)」を設置し、成長段階に応じた本を手にとることができるよう工夫を行った。</li> <li>・両館において、季節やニュース等で話題となっている事柄に関連する本の特集コーナーを設置し、幅広く知識・教養が身につくよう、工夫して展示した。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等から、小学校高学年時からの読書離れが危惧される。このため、YAコーナーの充実を図るなど、工夫が必要である。</li> </ul>

職員・ボランティアの研修の充実	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立図書館等が主催する研修会や読み聞かせ等の講習会に職員が参加し、来館者へのサービス向上に努めた。</li> <li>・外部講師を招き、読み聞かせ等を行うボランティアや保育士、教職員等を対象とした読み聞かせ講習会を開催した。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会だけではなく、ボランティア同士が情報交換できる場をつくるなど、支援方法を工夫していく必要がある。</li> </ul>

関係機関との連携強化	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に向け、朝読書用の貸出を平成 29 年 12 月より実施。近年では、SDGs に関する本を含めて貸出を行うなど、子どもたちが、新しい情報を得ることができるよう工夫した。</li> <li>・「学校支援図書購入」として、司書教諭・学校司書から要望のあった本を購入。小中学校での調べ学習に必要な図書を購入し支援を行った。</li> <li>・幼稚園、保育所、認定こども園及び小学校へ出向き、職員等が読み聞かせを実施した。</li> <li>・教育センターが主催する「学校図書館研修会」に図書館、子ども図書館の職員が参加し、学校図書館関係者と課題等の共有を行った。</li> <li>・子ども課、市民健康センターと連携し、子育てサポーターによる巡回訪問を子ども図書館内で実施した。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出は小学校によく利用されているが、それ以外の施設にも利用してもらうよう周知を図る必要がある。</li> </ul>

放課後子ども教室の実施	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べ学習教室」と「英語教室」の2教室を開催した。</li> <li>・調べ学習教室では、児童それぞれが、自分でテーマを決め、図書館の資料からテーマにあった情報を収集・選別し、考えをまとめる力を養う場とできた。</li> <li>・英語教室では、新学習指導要領の実施により、小学校での英語教育が必修化を受け、英語の絵本の内容を劇にして練習したり、英語の絵本を読んだりすることで、本を通しながら英語を楽しむ体制をつくることのできた。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べ学習教室」を軸として、図書館の強みと、時代のニーズに沿った教室を今後も継続して開催していく必要がある。</li> </ul>

障がいのある子どもの読書活動の推進	
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校や放課後等デイサービス事業所の団体利用を受入れ、職員が利用者に応じた読み聞かせや図書館サービスを行った。</li> <li>・特別支援学級などの本を充実させるため、解決策のひとつとして図書館のリサイクル本の活用を提案した。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもたちに図書館が行っているサービスはあまり認知されていない。関係課と連携して、広報を行っていく必要がある。</li> </ul>

## (5) 滑川市ふるさと教育の環境整備

ふるさと教育は、先人の取組を知り、郷土のよさを伝えていくために必要不可欠なものです。豊かな自然、歴史ある滑川市で生まれ育った先人の生涯を伝える人物伝、郷土の歴史や民俗を学ぶことは、未来に向かって生きる子どもの心の指針になり、大きな意味があります。平成28年3月に制作した絵本「キラリン 光の旅」を活用し、ふるさと教育スタートの機会提供に努めたほか、博物館の企画と連動した特集コーナーを設置するなど、ふるさと教育が充実したものとなるよう努めました。

ボランティアなどによる郷土の民話や紙芝居作成、読み聞かせ	
成 果	・子ども図書館では、ボランティアなどによる「お話し会」やイベントなどで、郷土を題材にした紙芝居の読み聞かせを行うなど、子どもたちに郷土の歴史や民俗を学ぶ機会を提供した。
課 題	・郷土についてより興味・関心を持ってもらえるよう、博物館等との連携など工夫した取組を行っていく必要がある。

児童向け民話や郷土資料の収集・所蔵の充実	
成 果	・滑川市だけでなく、県内の郷土資料についても、寄贈等を受け収集し、所蔵の充実を図った。
課 題	・県が作成した案内冊子「すすめたい ふるさと とやま 100冊の本」などを参考に、引き続き児童向け民話や郷土資料の収集・所蔵に努めていく必要がある。 ・収集・所蔵だけでなく、郷土資料について知ってもらえるよう、広報等を工夫していく必要がある。

ふるさと教育推進事業による語り部の育成・朗読会の開催	
成 果	・ふるさと教育推進事業により、各地域で、ふるさとの自然や歴史を学ぶ機会を提供した。
課 題	・ふるさと教育推進事業により、ふるさとへ興味・関心を持った子どもたちが、図書館に所蔵する他の郷土資料等にも興味・関心を持ってもらえるよう、展示方法などを工夫していく必要がある。

## (6) 数値目標達成状況等

令和元年 12 月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、社会経済活動に制限を余儀なくされ、大きな影響を与えています。市立図書館・子ども図書館においても休業等の対応、イベントの自粛などが行われ、子どもの読書活動においても例外ではありません。

目標として掲げた多くの項目で、数値が減少し、未達成となっております。主に令和 2 年度の数値においては、大きく影響を受けています。

市立図書館・子ども図書館ではそうした状況を踏まえ、団体貸出制度の利用促進や、イベントの開催方法などを見直し、コロナ禍での感染状況に合わせた取組を進めてきました。

これらによる効果もあり、令和 3 年度には、新型コロナウイルス感染症による影響は受けつつも、多くの指標で回復傾向にあります。

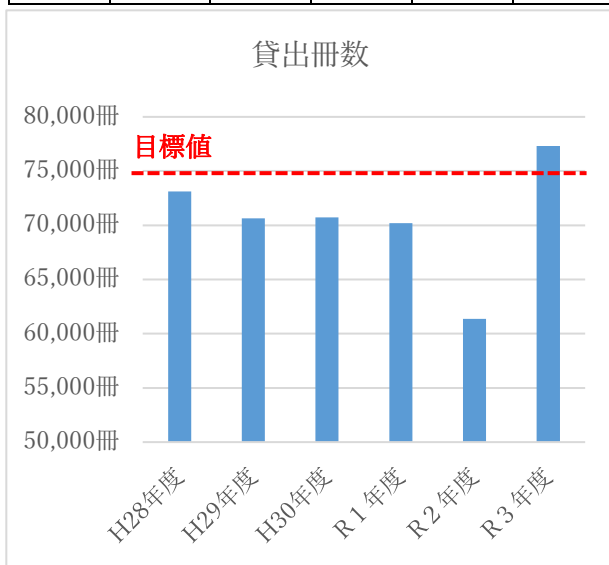
今後は、行動制限が緩和されていく中で、子どもたちの時間の過ごし方が多様になることが予想されます。こうしたことは、来館者数の減少要因にも、増加要因にもなり得ることから、引き続き感染状況を含め、状況にあわせ工夫した取組を展開していきます。

項目	平成 28 年度	目標値	令和 3 年度実績
貸出冊数	73,124 冊	75,000 冊	77,309 冊
団体貸出冊数	2,281 冊	2,500 冊	5,822 冊
来館者数	30,655 人	35,000 人	31,394 人
イベント回数	238 回	240 回	271 回
研修回数	23 回	25 回	14 回

< 数値目標達成状況 年度別推移 >

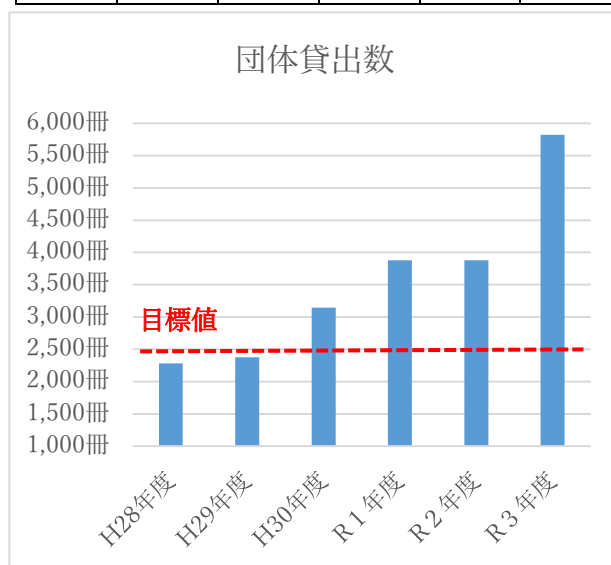
○ 貸出冊数 目標値 75,000 冊

H28	H29	H30	H31	R2	R3
73,124	70,648	70,723	70,188	61,380	77,309



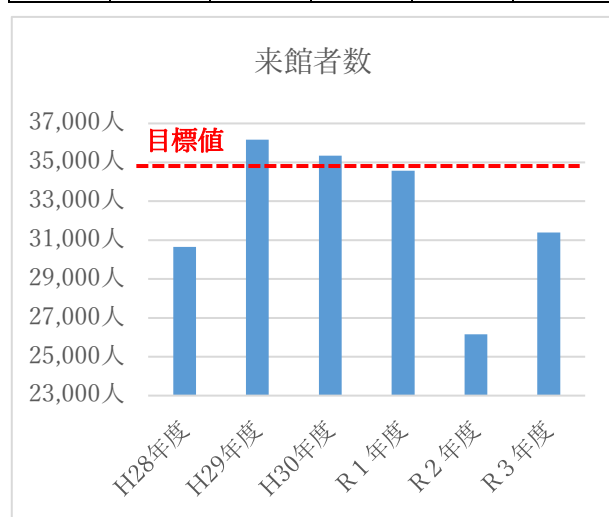
○ 団体貸出冊数 目標値 2,500 冊

H28	H29	H30	H31	R2	R3
2,281	2,378	3,147	3,876	3,880	5,822



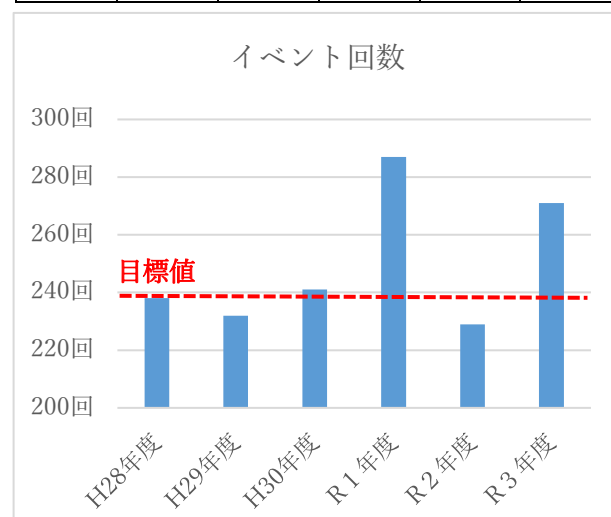
○ 来館者数 目標値 35,000 人

H28	H29	H30	H31	R2	R3
30,655	36,166	35,345	34,565	26,155	31,394



○ イベント回数 目標値 240 回

H28	H29	H30	H31	R2	R3
238	232	241	287	229	271



○ 研修回数 目標値 25 回

H28	H29	H30	H31	R2	R3
23	13	14	9	7	14

## <その他指標 年度別推移 >

### 1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

取組内容		H28	H29	H30	H31	R2	R3
ブックスタート事業	受取数(冊)	210	163	132	206	193	171
	受取率(%)	80.8	70.9	55.2	79.8	78.5	83.4
にこにこたいむ	実施回数	49	50	50	47	41	45
	参加人数	1,378	1,831	1,747	1,341	1,321	898
放課後児童育成クラブへの団体貸出	冊数	229	122	127	183	542	1,602
保護者向けの講習会等の開催	回数	—	—	—	1	1	1

### 2 幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進

取組内容		H28	H29	H30	H31	R2	R3
団体貸出冊数 (幼稚園・保育所・認定こども園)	冊数	268	84	168	108	203	207
読み聞かせ講習会	実施回数	49	50	50	47	41	45
	参加人数	1,378	1,831	1,747	1,341	1,321	898
団体貸出冊数 (放課後児童育成クラブ)	冊数	229	122	127	183	542	1,602
保護者向けの講習会等の開催	回数	—	1	1	1	2	1
出前講座・出張おはなし会	回数	2	10	12	12	12	18
団体利用	回数	30	16	23	17	5	7

### 3 学校における子どもの読書活動の推進

取組内容		H28	H29	H30	H31	R2	R3
団体貸出冊数 (学校)	冊数	986	938	2,408	2,713	2,744	3,563

## 第3章 第3次計画の基本的な考え方

第2次滑川市子ども読書活動推進計画を引き継ぎ、滑川市の子どもたちが、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、学校、地域等がそれぞれの役割を果たしながら連携して子どもの発達段階に応じた豊かな読書活動を推進することを目指します。

<基本方針>

### 1 子どもが読書に接する機会の提供と諸条件の整備・充実

子どもが自主的に本を手に取り、読書の習慣を身に付けるためには、幼少期から読書に親しむことが重要になります。そのため、家庭・地域・学校において、子どもの発達段階に応じた読書環境を整備していくことが必要です。

読書の楽しさを知るきっかけをもち、読書体験を深めていくことで、子どもは「読書の面白さ」や「知る喜び」を知り、自主的に本を読み、情報を探し、活用する力を身に付けていきます。関係機関が連携して、子どもが読書に親しむ機会の提供に努め、施設・設備・人員配置の整備、充実を図ります。

### 2 家庭・地域・学校を通じた社会全体での取組の推進

子どもの自主的な読書活動の推進には、家庭・地域・学校がそれぞれ担うべき役割を果たすとともに、これらが連携した社会全体での取組も必要になります。

子どもが読書に親しむ機会の充実を図り、読書活動の推進に携わる関係機関が緊密に連携し、相互に協力し、取組を推進することが重要です。

このような観点から、家庭・地域・学校それぞれが相互に連携・協力して、子どもの自主的な読書活動の推進を図るとともに必要な体制の整備に努めます。

### 3 子どもの読書活動推進に関する理解と周知

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、子どもの読書活動の意義や重要性について、広く市民が理解し、関心を深める必要があります。

子どもは大人から絵本や物語を読んでもらうこと、民話の語りや郷土の歴史等を聞くこと、読書する大人の姿勢を見ることによって読書意欲を高めます。特に保護者・教員・保育士等が読書活動に理解と関心をもつことが、子どもに自主的な読書習慣などを身に付けさせる上で重要です。

そこで、子どもの自主的な読書活動を推進する気運を高めるため、読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発を図るよう努めます。

<計画の施策体系>

	施策	取組		家庭・地域・学校を通じた社会全体での取組の推進
				活動の場（主な関係機関）
子どもが読書に接する機会提供と諸条件の充実 ・ 家庭・学校・地域を通じた社会全体での取組の推進	家庭における子どもの読書活動の推進	1	ブックスタート事業	家庭・図書館
		2	特集コーナーの設置	図書館
		3	読み聞かせを通じた家庭での読書啓発	家庭・図書館
		4	本に関する情報発信	図書館
		5	絵本の読み聞かせ講座	家庭・図書館
	幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進	6	幼稚園・保育所・認定こども園への団体貸出	幼稚園・保育所・認定こども園・図書館
		7	読み聞かせ・読書の方法についての研修	幼稚園・保育所・認定こども園・図書館
		8	出張おはなし会等による読書活動の支援	幼稚園・保育所・認定こども園・図書館
	学校における子どもの読書活動の推進	9	子どもの自主的な読書活動の推進	学校
		10	学校図書館の効果的な活用	学校
		11	図書資料の整備と充実	学校
		12	出張おはなし会等による読書活動の支援	学校・図書館
		13	各学校における魅力ある読書活動の充実	学校
		14	家庭・地域との連携による読書活動の推進	家庭・地域・学校
	地域における子どもの読書活動の推進	15	利用しやすい環境づくり	図書館
		16	全ての子どもたちが読書を楽しむことのできる環境づくり	図書館
		17	おはなし会の充実	地域・図書館
		18	イベント及び子育て支援講座の充実	図書館
		19	魅力ある書架づくり	図書館
		20	職員・ボランティアの研修の充実	図書館
		21	関係機関との連携強化	学校・幼稚園・保育所・認定こども園
		22	図書館資料の再活用	図書館
		23	図書館見学・職場体験等の受け入れ	図書館
		24	図書館利用カードの取得勧奨	図書館・学校
		25	ICTの活用	図書館
子どもの読書活動推進に関する理解と周知	26	子どもの読書の日や子ども読書週間でのイベント実施	図書館	
	27	図書館広報紙の発行	図書館	
	28	ホームページを活用した広報活動	図書館	
	29	外部講師などによる読書活動に関する研修会の実施	図書館	



<発達の段階別にみる取組一覧>

本計画は、0歳からおおむね18歳までを対象としていることから、この間を大きく四つの期間(乳幼児期、小学生期、中学生期、高校生期)に分け、読書に関する発達の段階ごとの特徴に応じて読書活動を推進することで、子どもが、自主的に読書をする習慣を身に付けていくことができるように取組んでいきます。

期間	年齢	本との関わり方
乳幼児期	0歳～6歳	本と出会う(乳児)・本を楽しむ(幼児)
小学生期	6歳～12歳	本に浸る(下学年)・本を活かす(上学年)
中学生期	12歳～15歳	本から学ぶ
高校生期	15歳～18歳	本と生きる

	取組一覧	乳	小	中	高
家庭	○ブックスタート事業				
	○特集コーナーの設置				
	○読み聞かせを通じた家庭での読書啓発				
	○本に関する情報発信				
	○絵本の読み聞かせ講座				
学校等	○幼稚園・保育所・認定こども園への団体貸出				
	○読み聞かせ・読書の方法についての研修				
	○出張おはなし会等による読書活動の支援				
	○子どもの自主的な読書活動の推進				
	○学校図書館の効果的な活用				
	○図書資料の整備と充実				
	○出張おはなし会等による読書活動の支援				
	○各学校における魅力ある読書活動の充実				
	○家庭・地域との連携による読書活動の推進				
地域	○利用しやすい環境づくり				
	○全ての子どもたちが読書を楽しむことのできる環境づくり				
	○おはなし会の充実				
	○イベント及び子育て支援講座の充実				
	○魅力ある書架づくり				
	○職員・ボランティアの研修の充実				
	○関係機関との連携強化				
	○図書館資料の再活用				
	○図書館見学・職場体験等の受け入れ				
	○図書館利用カードの取得勧奨				
	○ICTの活用				

## 第4章 第3次計画の具体的な取組

### 1 家庭における子どもの読書活動の推進

家庭は、子どもにとって一番身近な読書環境であり、子どもの読書活動の充実及び習慣化していく上で重要な役割を担っています。子どもがいつでも本を手にとることができ、読書を楽しめる環境をつくることや、子どもと一緒に図書館に出向いて読書を楽しむなど、子どもが読書に親しむきっかけを工夫してつくることが重要です。

#### <施策の方向>

ブックスタートなどで初めて絵本にふれた子どもが、引き続き絵本を楽しみ、ひいては生涯にわたる読書の習慣を身につけることができるよう、図書館、子育てや子どもの読書を支援するボランティア等が連携して、より多くの本とのふれあう機会を作り出していきます。また、子どもの読書にかかわる大人が、本に親しむことの大切さを実感できるよう継続的に働きかけていきます。



(ブックスタート事業の様子)

#### <具体的な取組>

取組	内容
・ ブックスタート事業	・ 0歳からの読書習慣の形成を促すため、絵本を手渡すブックスタート事業を継続して行います。
・ 特集コーナーの設置	・ テーマを設け、子どもの興味・関心にこたえる図書を紹介していきます。
・ 読み聞かせを通じた家庭での読書啓発	・ にこにこたいむ（親子ふれあいあそび）などでの、絵本の読み聞かせを通して、子どもと本の出会いの場を提供し、家庭でも読書を楽しめるように啓発します。
・ 本に関する情報発信	・ 年齢に応じた本を紹介するため、「おすすめの赤ちゃん絵本の紹介」をはじめとするリーフレットや広報紙を発行し、家庭での読み聞かせ・読書を推進します
・ 絵本の読み聞かせ講座	・ 絵本の読み聞かせ講座を継続して行い読書の大切さを伝え、保護者の意識の高揚を図ります。

## 2 幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進

乳幼児の心身は日々成長しています。また、常に身のまわりの環境に興味をもち、そこから影響を受けています。人格の基礎が形成されるこの時期に、絵本を通じて情操教育を行うことは、子どもの心の成長にとって大切であり、幼稚園・保育所・認定こども園の役割が一段と重要になっています。

### <施策の方向性>

幼稚園・保育所・認定こども園が、要領・指針に示されるような、絵本や物語などに親しむ活動ができるよう、図書館、子育てや子どもの読書を支援するボランティア等が連携して、取組を進めます。

### <具体的な取組>

取組	内容
・ 幼稚園・保育所・認定こども園への団体貸出	・ 団体貸出制度を教職員に周知し、図書館の本を積極的に利用してもらえるよう促します。
・ 読み聞かせ・読書の方法についての研修	・ 読み聞かせや読書指導の方法について、研修の機会を設け、幼稚園教諭・保育士が保護者や子どもに本の楽しさを伝えられるよう努めます。
・ 出張おはなし会等による読書活動の支援	・ 出張おはなし会や団体利用時における絵本の読み聞かせなどを実施し、絵本に親しむ機会を増やします。



(出前講座の様子)



(団体利用時の読み聞かせの様子)

### 3 学校における子どもの読書活動の推進

子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していく上で、学校は大きな役割を果たしています。

新学習指導要領においても、言語活動等を充実するとともに、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の自主的・自発的な読書活動を充実することとされています。

これらを踏まえ、学校においては、子どもの読書活動を支援し、読書指導を充実することにより、読書の量を増やすことのみならず、読書の質を高めていくことが求められています。

#### <施策の方向性>

これまでの朝の読書や学校での読み聞かせ等の取組について、今後も継続・充実を図ります。また、こうした読書活動の一層の推進と調べ学習などを通して、子どもたちの自主的・自発的な読書活動が行えるよう適切な支援を推進します。

#### <具体的な取組>

取組	内容
・ 子どもの自主的な読書活動の推進	・ 「朝の読書」をはじめとする読書時間の拡大や「総合的な学習の時間」における読書の動機づけなどを行い、より多く本に触れる機会を充実していきます。
・ 学校図書館の効果的な活用	・ 学校司書や司書教諭を対象とした「学校図書館活用研修会」を開催し、学校図書館の運営に関する情報交換と学校図書館を活用した授業の実践について研修することで、学校図書館の効果的な活用を図ります。
・ 図書資料の整備と充実	・ 子どもたちの様々な興味・関心にこたえるために、図書資料を計画的に購入し、図書標準を引き続き満たすようにします。
・ 出張おはなし会等による読書活動の支援	・ 出張おはなし会を実施し、本に親しむ機会を増やすとともに、市立図書館や子ども図書館のPRを行い、来館を促します。
・ 各学校における魅力ある読書活動の充実	・ 親子読書への取組や、読書冊数を決めて目標をもたせる、多読者の表彰など、積極的に読書する意欲を高めるようにします。
・ 家庭・地域との連携による読書活動の推進	・ 家族で読書に取組むイベントや、地域ボランティアによる学校での読みかせなど、家庭や学校での読書活動の充実を図ります。

## 4 地域（市立図書館・子ども図書館）における子どもの読書活動の推進

図書館は、子どもたちにとって、読みたい本を自由に手に取り、読書の楽しみを知ることができる場所であり、地域の読書活動の拠点として、充実・発展させていくことが求められています。

子どもたちとその保護者が気軽に利用しやすく、質の高いサービスが提供できるよう努めるとともに、より良い読書環境の整備と読書意欲を向上させる事業を推進していきます。

### <施策の方向性>

滑川市立図書館基本構想に掲げる「家庭、地域、学校の連携を支え、読書推進を発信する図書館」として、関係機関との協働に取り組んでいきます。

また、子ども図書館では「乳幼児期からの本との出会いを大切にし、豊かな感受性や探究心を育み、親と子が気軽に集い、触れ合う子育て支援・交流施設」として、子育て支援事業の充実を図りつつ、乳幼児期から多様な読書体験活動にふれることのできる取組を推進します。



（市立図書館における特集コーナー）



（子育て支援講座の様子）

### <具体的な取組>

取組	内容
・ 利用しやすい環境づくり	<p><b>市立図書館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テラス席をはじめ、周辺の緑と一体化した空間での読書や、カフェでくつろぎながら読書できるスペースを設け、明るく憩いやすい空間づくりに努めます。</li> </ul> <p><b>子ども図書館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあいひろばなど、親子が本を通じてより触れ合うことのできる空間づくりに努めます。また館内には、心地よいBGMを流すほか、子どもたちの作品など、明るく、楽しい空間づくりに努めます。</li> </ul>
・ 全ての子どもたちが読書を楽しむことのできる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の子どもや障がいのある子どもにも、本を楽しんで親しみをもってもらえるよう、点字本や外国語の図書の貸出などのサービスを展開していきます。</li> <li>・ 経験豊かな保育士職員が障がいの程度に応じ、楽しく読書活動ができるように支援します。</li> </ul>

取組	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児～小学校下学年を主な対象に、発達の段階に応じた読み聞かせを実施します。  <u>乳幼児期</u>  親子ふれあいあそび（にこにこたいむ）の中で、絵本の読み聞かせや絵本の紹介を行います。  <u>幼児期～小学生下学年</u>  ボランティアや図書館職員などによるおはなし会を実施します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント及び子育て支援講座の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館に訪れる機会を増やすことにより、来館した子どもたちやその保護者に、より多くの本を手にとってもらえるよう、各種イベント（おたのしみ会等）や放課後子ども教室、子育て支援講座を開催します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある書架づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども図書館では、「あかちゃんえほん」、「3歳からのえほん」などのコーナーの設置をはじめ、両館において「YAコーナー」を設置するなど、発達の段階に応じた本を手にとることができるよう、図書の実践や展示方法の工夫を行います。</li> <li>両館において、季節やニュース等で話題となっている事柄に関連する本の特集コーナーを設置し、読書への関心を高める工夫をします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員・ボランティアの研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県などが開催する研修へ積極的に参加し、職員の資質の向上を目指します。</li> <li>ボランティアをはじめとする、読み聞かせを行う方への研修会を開催し、地域で活躍するボランティアの方々を支援します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や幼稚園・保育所・認定こども園と連携して今後も団体貸出や団体利用の受け入れを積極的に行っていきます。</li> <li>学校での調べ学習に対応できるよう、学校司書や司書教諭と連携して必要な図書を購入していきます。</li> <li>学校図書館研修会に参加し、学校図書館関係者の要望を聞きながら相互理解を深め、連携を強めていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館資料の再活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちがより多くの本を手に取り、読書を楽しめるよう、図書館の除籍図書や寄贈図書を学校や放課後児童育成クラブなどに提供します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館見学・職場体験等の受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの図書館見学や中学生の職場体験などを積極的に受け入れ、図書館の利用方法や読書の楽しみを体感する機会を創出し、図書館の利用促進を図ります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用カードの取得勸奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての子どもが図書館利用カードを持つように呼びかけていきます。毎年、小学校の入学にあわせ、新1年生全員に図書館利用カードの作成を呼びかけて、読書活動の推進につなげます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携におけるネットワークシステムの構築や電子書籍等のデジタルコンテンツの利活用など、国・県・市の動向を踏まえ、検討・協議を進めます。</li> </ul>

## 5 子どもの読書活動推進に関する理解と周知

### <施策の方向性>

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、子どもの読書活動の意義や重要性について、広く市民が理解し、関心を深める必要があります。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」のなかで、子どもの読書活動についての関心と理解を深めるため、4月23日を「子ども読書の日」と定めています。様々な機会をとらえ、子どもの読書活動についての周知・広報を図っていきます。

また、身近な大人に絵本や物語を読んでもらうこと、読書に親しむ姿を見ることは、子どもが読書をするきっかけにもなります。このことから、保護者や子どもの読書に関わる大人に対しても、読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発を図るよう努めます。

加えて、読書活動の推進を図るためには、様々な機会や媒体を利用して広報することも重要です。保護者や地域の大人たちに向けて、読書推進の取組を広く周知していきます。

### <具体的な取組>

取組	内容
・ 子どもの読書の日や子ども読書週間でのイベント実施	・ 「子ども読書の日」（4月23日）や「子ども読書週間」（4月23日～5月12日）を中心として読書に親しんでもらえるようなイベント・企画を行います。
・ 図書館広報紙の発行	・ 児童向けの広報紙「どんぐり」や、小学校高学年～中学生向けの広報紙「キラリンライブラリー」を発行し、市内の学校へ配布します。
・ ホームページを活用した広報活動	・ 図書館ホームページや市のホームページ等を活用し、子どもの本に関する情報を広く人々に届け、子どもの読書活動の普及・啓発に努めます。
・ 外部講師などによる読書活動に関する研修会の実施	・ 子どもの読書活動に関わる大人を対象とした講座や研修会を実施し、読書活動の意義や重要性について普及・啓発を図るよう努めます。



（読書週間イベント ほんのおたのしみ袋・クイズラリー）

## 6 滑川市ふるさとと教育の環境整備

ふるさと教育は、先人の取組を知り、郷土のよさを伝えていくために必要不可欠なものです。豊かな自然、歴史ある滑川市で生まれ育った先人の生涯を伝える人物伝、郷土の歴史や民俗を学ぶことは、未来に向かって生きる子どもたちの心の指針になるものです。

### <施策の方向性>

ふるさとの歴史・文学に触れ、より親しむ機会を増やすため、児童向けの民話や郷土資料の収集・所蔵に努めるとともに、ふるさとの民話や物語の読み聞かせの開催等に努めます。

### <具体的な取組>

取組	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアなどによる郷土の民話や紙芝居作成、読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育所・認定こども園、小中学校では、ボランティアなどによる郷土の民話や紙芝居、パネルシアターなどの利用増進を図り、読み聞かせ会などを行う機会を増やすよう努めます。教育委員会では、その取組を支援するとともに、民話を幼児向けに再編し、幼稚園、保育所、認定こども園への配付を検討するなど、支援を行います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童向け民話や郷土資料の収集・所蔵の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとの歴史・文学に触れ、より親しむ機会を増やすため、市立博物館とも連携し、児童向けの民話や郷土資料の収集・所蔵に努め、郷土資料の充実を図ります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと教育推進事業による語り部の育成・朗読会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館では、ふるさと教育推進事業による語り部の育成や朗読会を開催するなど、地域に愛着が持てるような事業を推進します。</li> </ul>



(ふるさとを題材にした紙芝居の読み聞かせ)



(博物館との連動企画)



## 第5章 計画の推進に向けて

### 1 推進体制

子どもの読書活動の総合的で継続的な推進のために、図書館や幼稚園・保育所・認定こども園、学校、各種機関などが互いに連携・協働しながら、積極的に取組を進めます。

また、子どもの読書活動の重要性について、様々な取組を通して、意識を高めていくよう努めなければなりません。そのためには、関係機関が連携、協力し、市民との協働を大切にしながら「第3次滑川市子ども読書活動推進計画」に基づいて、子どもの読書活動を推進していきます。

### 2 関係機関、子ども読書活動団体などとの連携、協力

市内には幼稚園・保育所・認定こども園や学校、図書館などを拠点に、おはなし会などを行う団体、ボランティアが活躍しています。こうした方々の活動が、子どもの読書活動の推進に大きな力となっています。

これらの団体が必要に応じて情報交換を行えるように、図書館を中心としたネットワークを形成し、連携、協力して子どもの読書活動の推進を図っていく必要があります。

また、図書館や幼稚園・保育所、認定こども園、学校などが、それぞれの役割を積極的に果たすとともに、読書ボランティアなどと連携、協力して、子どもの読書活動の推進を図ります。



(ボランティア団体による読み聞かせの様子)

## 第6章 指標の設定

この計画では、子ども読書活動推進計画の推進状況を概観できる指標を使って、数値目標を設定します。この指標の達成状況の把握によって、この計画の進行管理を行っていきます。

### 【各取組目標】

	項目	現状	令和8年度末 (目標)
1	「読書が好きな児童生徒の割合」 【児童生徒の読書に関するアンケート】	小学生 80% 中学生 69% (R4調査時)	小学生 80% 中学生 70%
2	平日に読書しない割合 【児童生徒の読書に関するアンケート】	小学生 23% 中学生 49% (R4調査時)	小学生 21% 中学生 45%
3	ブックスタート事業における絵本の受取率	73.5% (H29-R3平均)	80.0%
4	貸出冊数（子ども図書館） ※団体貸出冊数除く	71,429冊 (R3)	69,200冊
5	団体貸出冊数（子ども図書館） ※全体	3,821冊 (H29-R3平均)	3,500冊
6	団体貸出冊数（子ども図書館） ※幼稚園・保育所・認定こども園	207冊 (R3)	360冊
7	団体貸出冊数（子ども図書館） ※学校	2,857冊 (H30-R3平均)	2,600冊
8	小学生以下の図書館利用カードの登録者数	2,117人 (R3)	2,000人
9	来館者数	31,394人 (R3)	30,000人
10	イベント回数	252回 (H29-R3平均)	230回

## 【指標設定の考え方】

### 1 読書が好きな児童生徒の割合

読書が好きな児童生徒の割合は高いため、現状維持を目標として設定した。

### 2 平日に読書しない割合

「令和3年度全国学力・学習状況調査」における富山県の数値を目標として設定した。

### 3 ブックスタート受取率

第2子以降の受取数が減少することも想定されるため、現状と同程度の水準とした。

### 4 貸出冊数（子ども図書館） ※団体貸出冊数除く

R8目標貸出冊数  $\frac{3,640人 \times 19冊}{D \quad E} \div 69,200冊$

A R3 貸出冊数 71,429 冊 （図書館利用統計より引用）

B R3 末時点の0～14歳人口 3,963 人 （市ホームページより引用）

C R3 人口（0～14歳人口）一人当たりの貸出冊数（A÷B）18 冊

D R7 時点の0～14歳人口推計 3,640 人 （滑川市人口ビジョンより引用）

E R8 目標貸出冊数一人当たり19冊 ※一人当たり1冊増の目標

### 5 団体貸出冊数（子ども図書館） ※全体

$3,821冊 \times 0.9 \div 3,500冊$

（H29-R3 平均値）×（人口減少率）

※R3年度はコロナ禍の対応として来館ではなく、団体貸出等を積極的に呼びかけたため、

R3年度の数値のみでなく、H29年度からの5か年平均を基に、人口減少率を考慮し設定した。

※0-14歳の人口減少率（R2-R7） 0.90 （滑川市人口ビジョンより R2：4,015→R7：3,640）

### 6 団体貸出冊数（子ども図書館） ※幼稚園・保育所・認定こども園

$400冊 \times 0.9 = 360冊$

※目標未達成項目につき、第2次計画時の目標400冊を据え置き、人口減少率を考慮した。

※0-14歳の人口減少率（R2-R7） 0.90 （滑川市人口ビジョンより R2：4,015→R7：3,640）

### 7 団体貸出冊数（子ども図書館） ※学校

$2,857冊 \times 0.9 \div 2,600冊$

（H29-R3 平均値）×（人口減少率）

※学校支援図書購入（H29～）、及び朝読書用図書の貸出（H29.12～）を実施したことにより、学校への貸出数が大幅に伸びている。このため、上記取組の効果が表れたH30年度からの3か年平均を基に、人口減少率を考慮し設定した。

※0-14歳の人口減少率（R2-R7） 0.90 （滑川市人口ビジョンより R2：4,015→R7：3,640）

## 8 小学生以下の図書館利用カードの登録者数

R8 目標登録者数  $3,082 \text{ 人} \times 65.0\% \div 2,000 \text{ 人}$

D                  E

A	小学生以下のカード登録者数 (R3) 2,177 人
B	0-12 歳の人数 (R3) 3,425 人 (教育要覧より引用 R3.10 時点)
C	取得率 (A÷B) 63.5%
D	0-12 歳の人数 (R7) (B×0.9) 3,082 人
E	R7 目標取得率 65.0%

## 9 来館者数 (子ども図書館)

行政評価の目標数値 (R6) を令和 8 年度まで維持することとした。

## 10 イベント回数

行政評価の目標数値 (R6) を令和 8 年度まで維持することとした。

### 【参考】令和 8 年度末の目標設定にあたり考慮したデータ

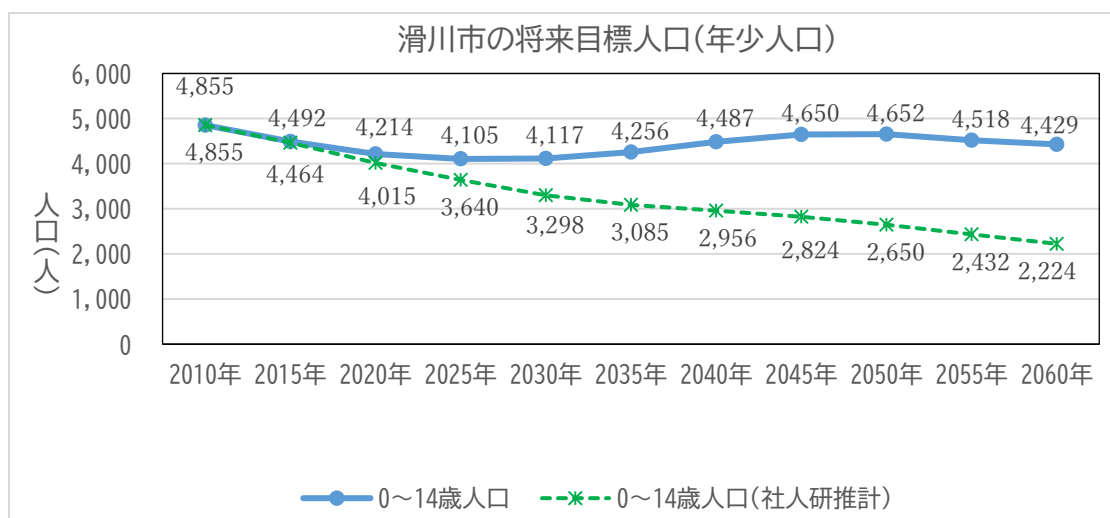
目標設定にあたっては、年少人口 (0 歳~14 歳) の人口減少を考慮した。

・ 人口減少率 (R2~R7)  $3,640 \text{ 人} \div 4,003 \text{ 人} \div 90\%$

R2 (2020) 年度の 0~14 歳人口 4,003 人 (実績値)

R7 (2025) 年度の 0~14 歳人口 3,640 人 (国立社会保障・人口問題研究所推計値)

年少人口 (0 歳~14 歳) の推計値と将来展望値の比較



「滑川市人口ビジョン」より引用

---

---

## 資料編

---

---

# 1 児童生徒の読書に関するアンケート結果（概要）

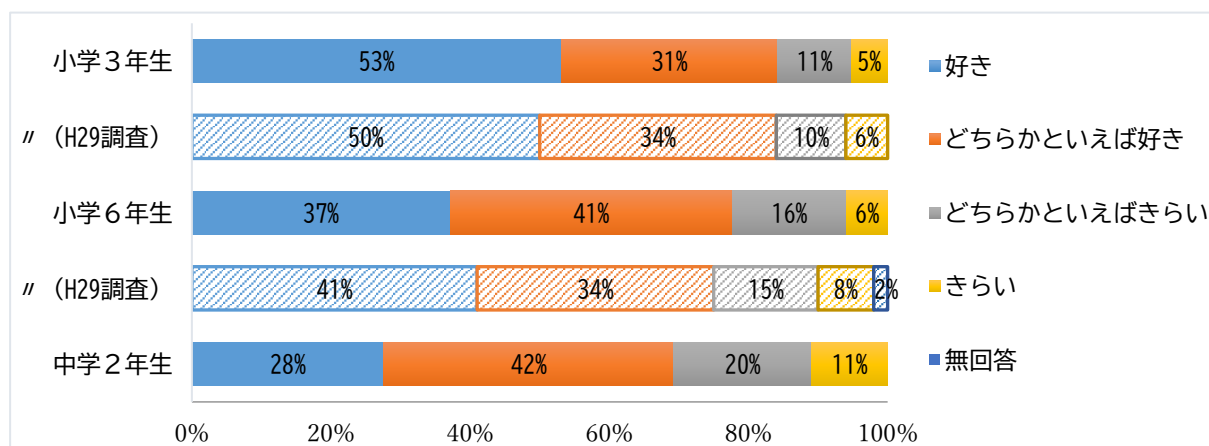
調査対象：市内の小中学校に通う小学3年生・6年生、中学2年生

調査方法：電子アンケートによる

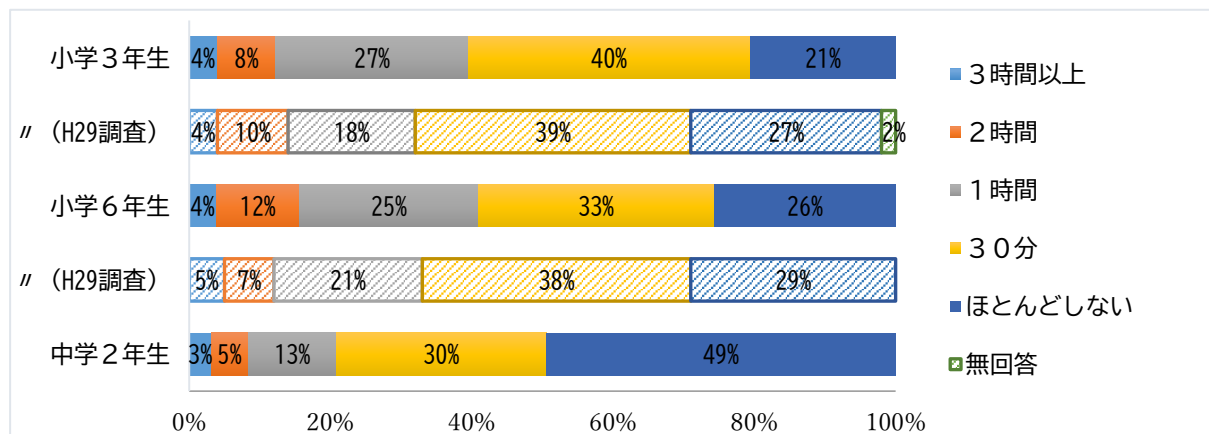
調査期間：令和4年7月12日～22日

※継続調査と記載のある設問は、第2次計画策定時に調査した項目。  
（中学生については今回より調査。）

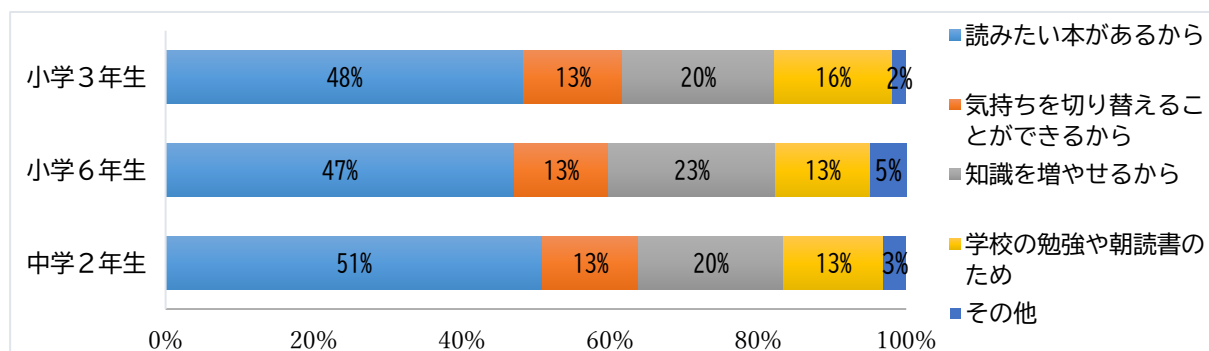
## 1 読書が好きですか ※継続調査



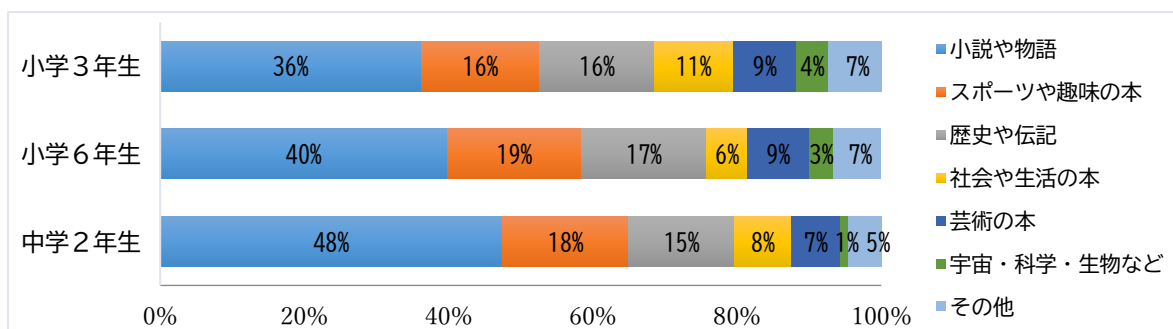
## 2 平日（月～金）に、1日あたりどれくらい読書をしますか ※継続調査



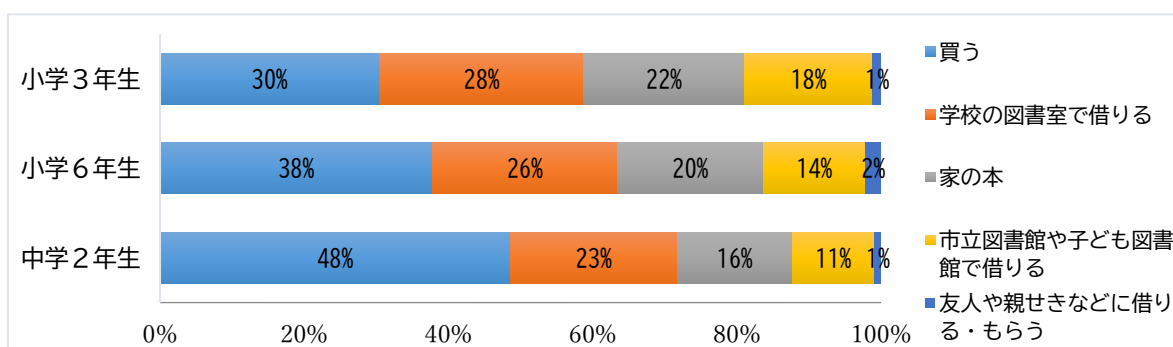
## 3 あなたが読書をする理由はなんですか（複数回答可）



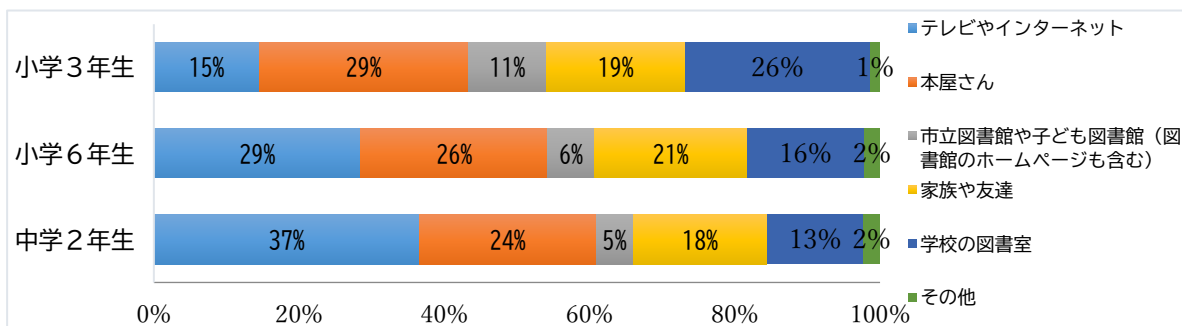
#### 4 どんな本が好きですか（複数回答可）



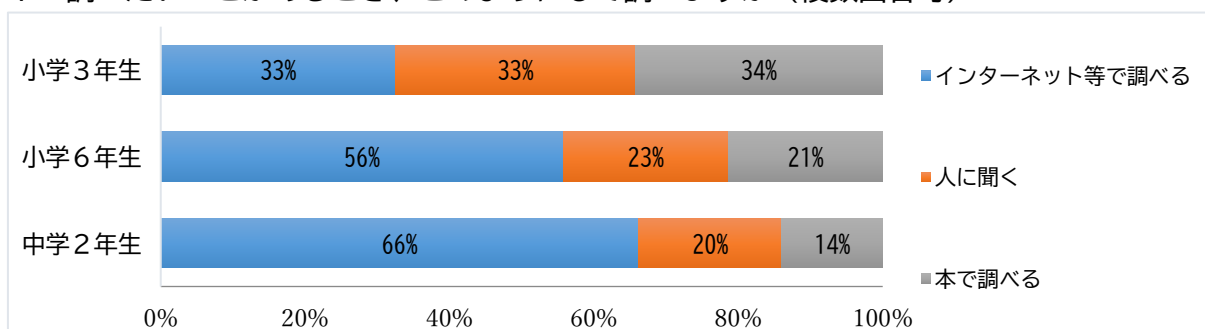
#### 5 どうやって本を手に入れていますか（複数回答可）



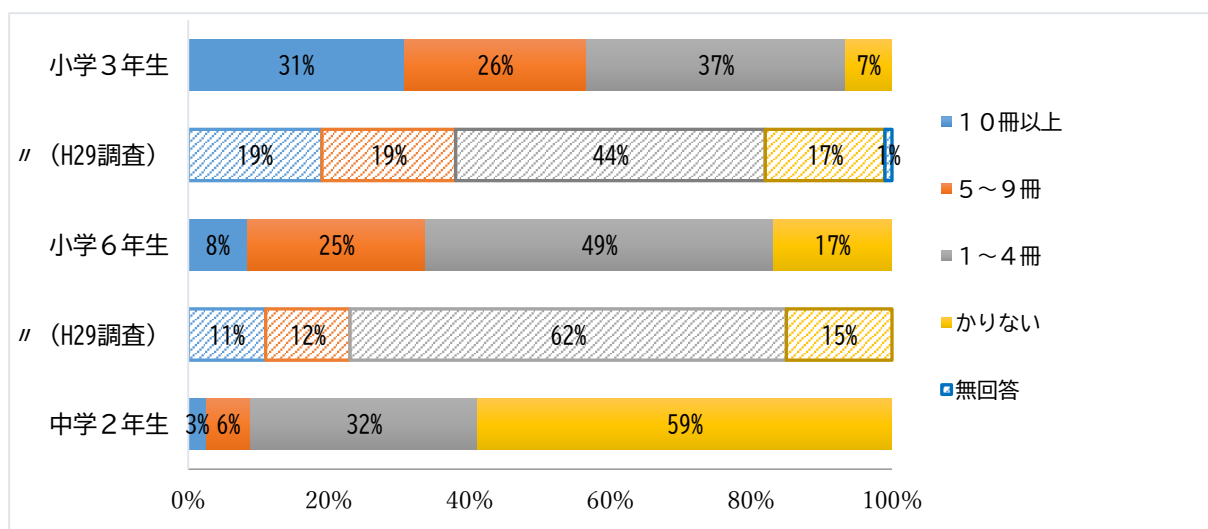
#### 6 読みたい本の情報をどうやって知りますか（複数回答可）



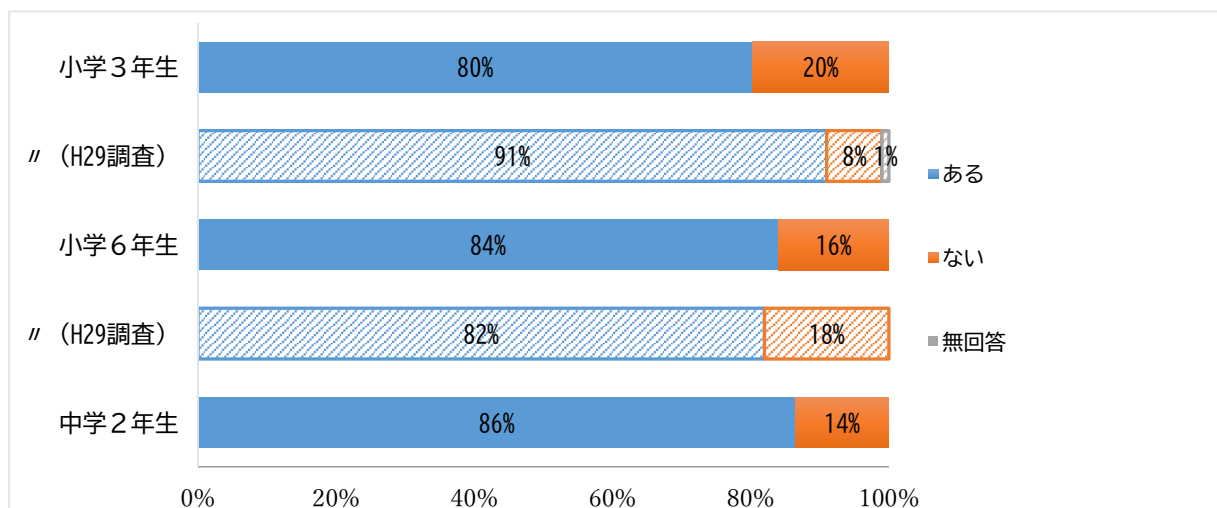
#### 7 調べたいことがあるとき、どのようにして調べますか（複数回答可）



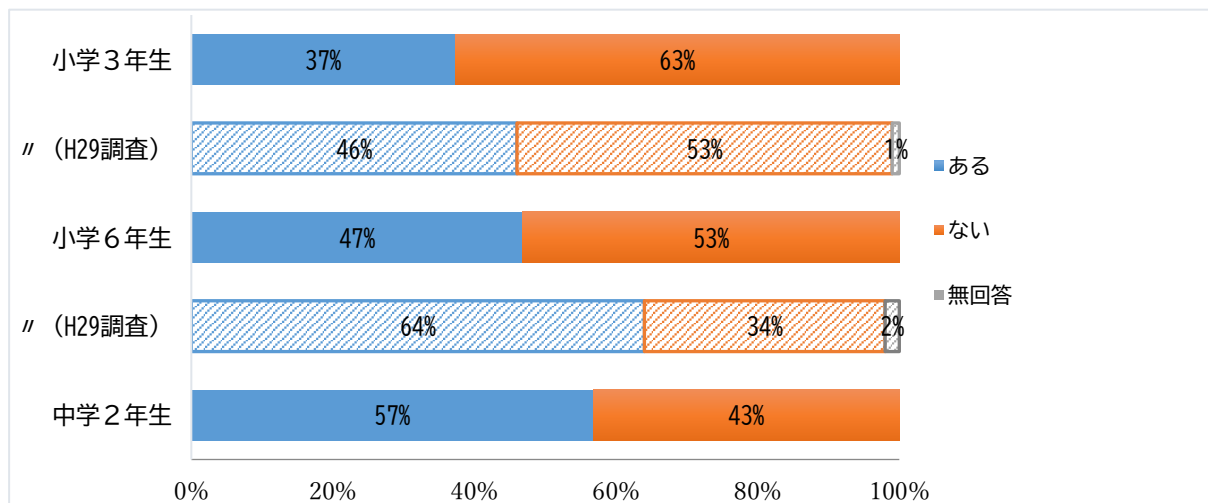
8 学校の図書室で1か月に何冊くらい本をかりますか ※継続調査



9 子ども図書館を利用したことがありますか ※継続調査

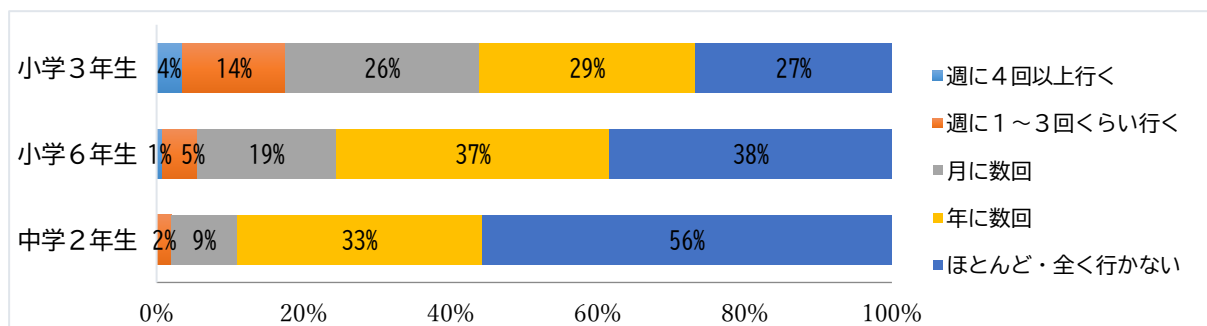


10 市立図書館を利用したことがありますか ※継続調査

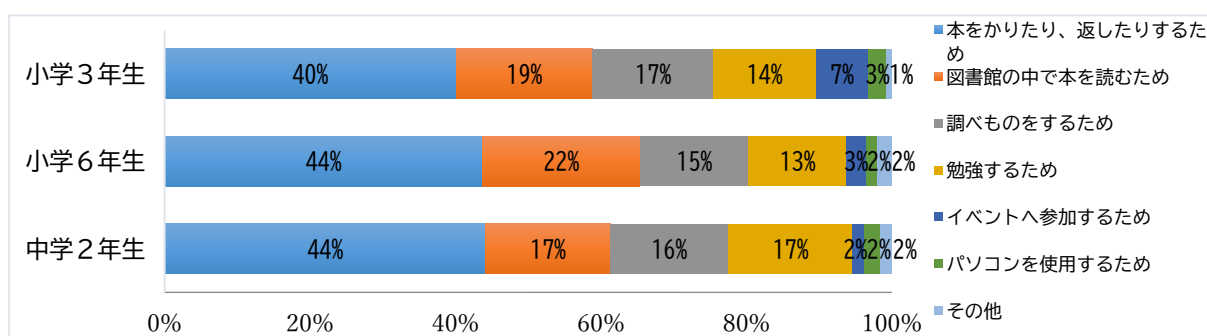




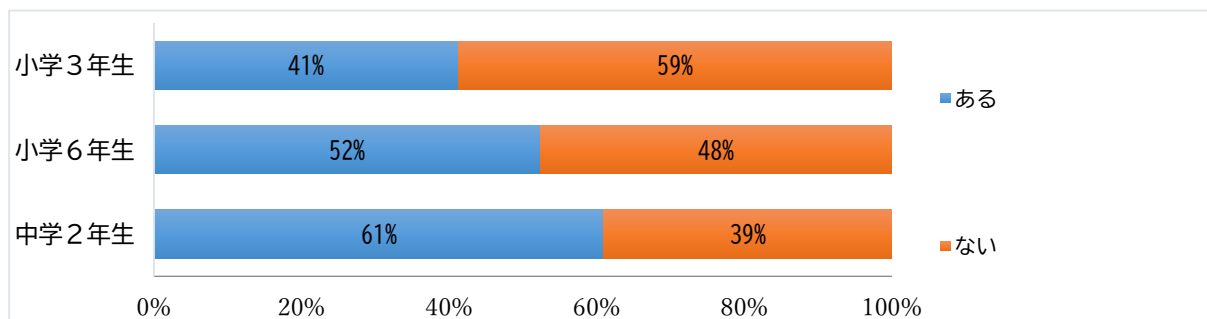
### 11 市立図書館や子ども図書館にどれくらい行きますか



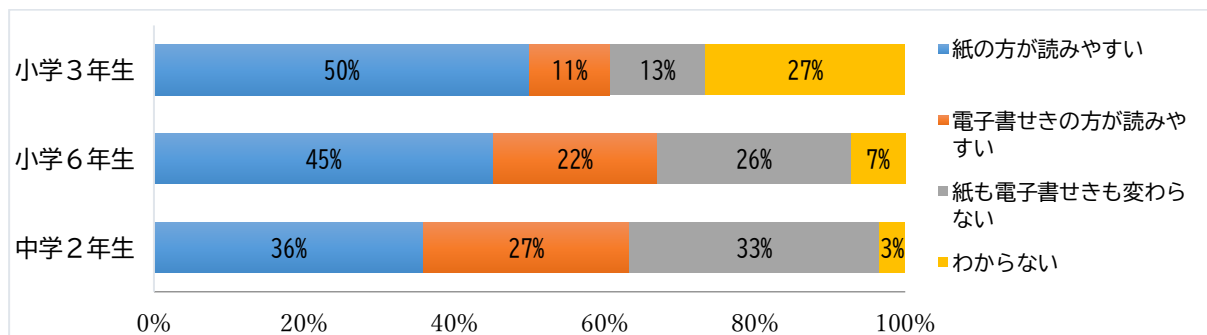
### 12 市立図書館や子ども図書館へ行く利用目的は何ですか



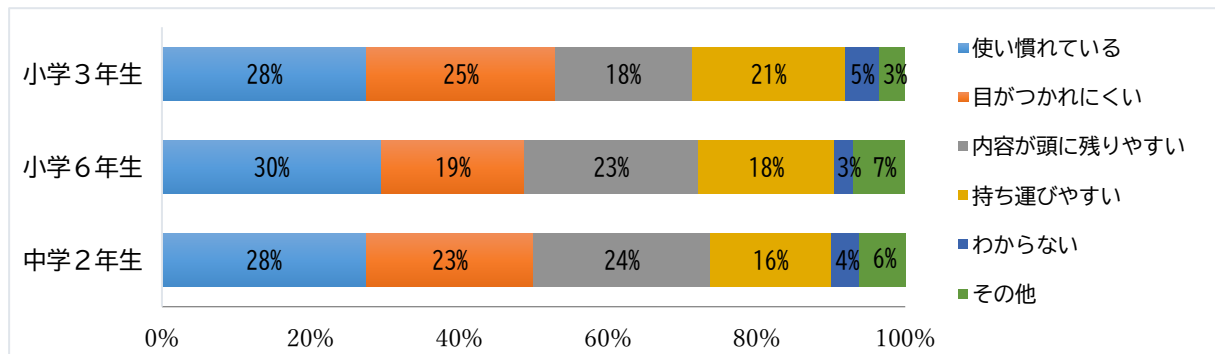
### 13 スマホやタブレットで電子書籍を読んだことはありますか



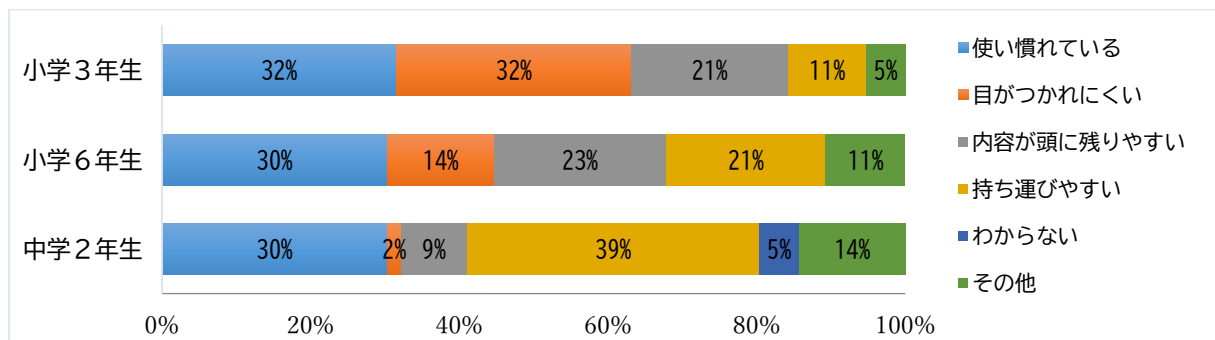
### 14 紙の書籍と電子書籍ではどちらが読みやすいと思いましたか



15 「紙の方が読みやすい」と思う理由をおしえてください（複数回答可）



16 「電子書籍の方が読みやすい」と思う理由をおしえてください（複数回答可）



## 2 学校での取組

---

学校で行われている主な取組事例についてとりまとめたものです。

### ☐ 読書習慣の形成・読書の機会の拡充

- ・ 継続的な朝読書の実施
- ・ 身近な場所（各学年のフロア等）に図書を設置するなど、読書環境の整備・充実
- ・ 校内読書週間の実施
- ・ 多読児童など、読書に意欲的に取り組んでいる児童・生徒の紹介や表彰の実施
- ・ 各学年（学級）の貸出数の発表
- ・ 図書委員会における自主的・創造的な活動  
（〇冊読んだらしおりをプレゼントするなど企画実施）
- ・ 各学級の学級文庫等へ図書室の本の貸出
- ・ 家読（うちどく）の推奨
- ・ 学校図書館の利用方法等を説明するオリエンテーションの実施
- ・ 目標冊数を設定した読書活動の実施

### ☐ 図書の紹介、読書経験の共有により、様々な図書に触れる機会の確保

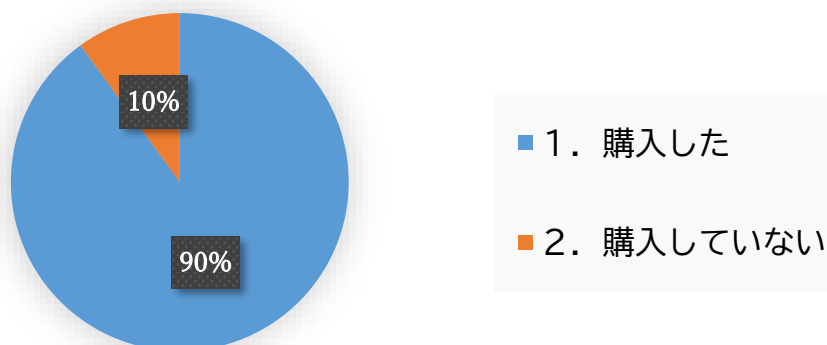
- ・ 学校司書や地域ボランティアによる読み聞かせの実施
- ・ おすすめの本の教室貸出
- ・ 親子読書の推奨
- ・ 図書委員会における自主的・創造的な活動  
（1年生への読み聞かせ、おすすめ図書の紹介等）
- ・ 新着図書や推薦図書などの紹介  
（コーナー設置や、図書新聞（おたより）・校内放送等による紹介）

### ☐ その他

- ・ 図書館司書による図書室のコーディネート
- ・ 市教育委員会、市教育センターと連携して図書館の活用に関する研修の実施

### 3 放課後児童育成クラブでの取組など（アンケート調査結果）

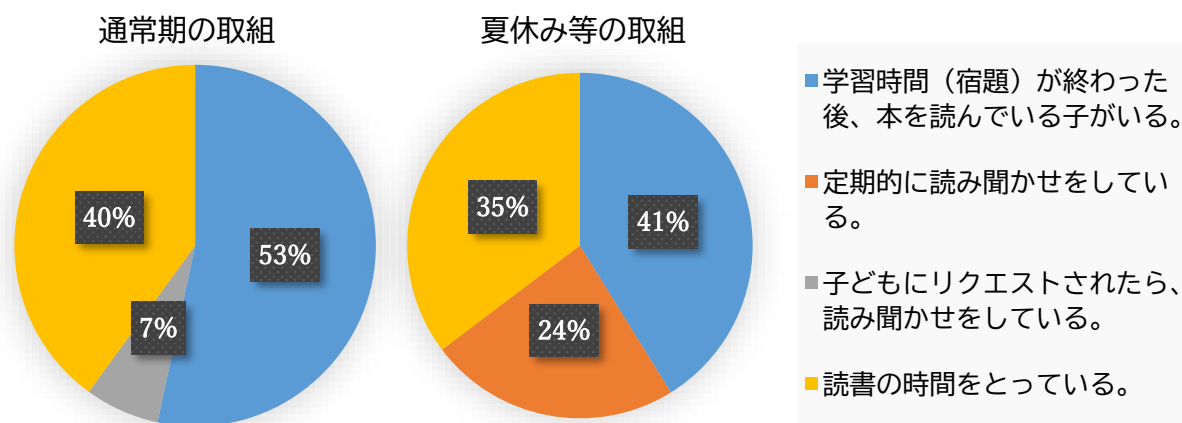
#### 1 令和3年度に本を購入しましたか。



#### 購入方法

- ・ 市からの委託料
- ・ 児童からの集金の一部
- ・ 寄附金

#### 2 クラブ内での読書への取組について



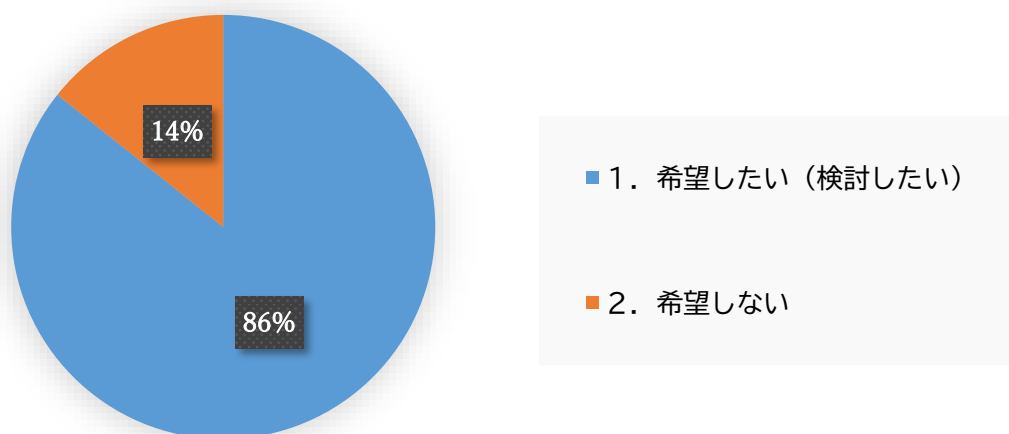
#### ※以下、自由記載による回答

- ・ 読書マラソンの実施（夏休み）
- ・ 家庭にある本を持参しての読書実施（夏休み）
- ・ 子どもたちが自由にいつでも読めるようにしている（通常期）
- ・ 帰館後宿題し、終わった児童から読書を指導している（通常期）
- ・ 自由時間及び17時以降を読書タイムにしている（通常期）
- ・ 個々人に寄り添って一緒に読んだり、読み聞かせをしている（通常期）

### 3 クラブ内での読書活動推進への取組について

- ・子どもに人気の本（おしりたんていやおばけずかん等）を揃える
- ・子どもたちの読みたい本を聞き取る。子ども番組やTV、ネットなどで人気があったり、注目されているものがあれば、調べたうえで検討する
- ・新しい本の購入や読み聞かせ、お気に入りの本に投票して、No.1本を決める
- ・学校でも読書について力を入れているため、遊ぶことが嫌になったら読書をするようにしている
- ・夏休みは9時～9時45分に家から持ってきた本を読む。親子で相談し、子ども図書館で借りることもある

### 4 図書館より本の寄贈を申し出た場合、本の受入れを希望しますか。



## 参考 子ども読書活動推進計画策定の動向

年月	国	富山県	滑川市
平成 12 年	「子ども読書年」		
平成 13 年 12 月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」公布・施行		
平成 14 年 8 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定		
平成 15 年 2 月		「富山県子ども読書活動推進計画」策定・公表	
平成 17 年 7 月	「文字・活字文化振興法」公布・施行		
平成 18 年 12 月	「教育基本法」の改正		
平成 19 年 6 月	「学校教育法」の改正		
平成 20 年 3 月	「第二次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定		
平成 20 年 6 月	図書館法の改正		
平成 21 年 2 月		「第二次富山県子ども読書活動推進計画」策定	
平成 24 年 6 月		「新・元気とやま創造計画」公表	
平成 25 年 3 月			滑川市子ども読書活動推進計画策定
平成 25 年 9 月		「富山県教育振興基本計画」の策定	
平成 25 年 5 月	「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定		
平成 26 年 3 月		「第三次富山県子ども読書活動推進計画」策定	
平成 26 年 7 月	「学校図書館法」改正		
平成 27 年 3 月			・滑川市立図書館基本構想策定 ・滑川市立子ども図書館開館
平成 29 年 3 月			滑川市立図書館改修工事完成
平成 29 年度			文科省委託事業 学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究事業
平成 30 年 3 月		「元気とやま創造計画」策定・公表	第 2 次滑川市子ども読書活動推進計画策定
平成 30 年 4 月	「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」策定		
平成 31 年 4 月		「第四次富山県子ども読書活動推進計画」策定	
令和元年 6 月	「読書バリアフリー法」公布・施行		
令和 2 年 7 月	「読書バリアフリー基本計画」策定		
令和 5 年 3 月			・第 3 次滑川市子ども読書活動推進計画策定 ・令和 5 年度子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰（滑川市立子ども図書館）

## 第3次滑川市子ども読書活動推進計画

令和5年3月

編集発行 滑川市子ども読書活動推進計画策定委員会  
滑川市教育委員会

---

〒936-8601 滑川市寺家町104番地  
TEL：076-475-2111（代表） FAX：076-475-6299